



暑中お見舞い申し上げます。厳しい暑さの夏がやってきましたね。外の暑さと冷房のきいた室内の温度差で、体調を崩したりしていませんか？仕事柄、ほとんど室内でお過ごしになるという方も、水分補給はこまめに、体調管理を怠らず元気にお過ごし下さい。夏休み中の子供たちも、外遊びには紫外線対策と熱中症対策をお忘れなく。皆さんそれぞれ予定がいっぱいかもしれませんが、是非その合間をぬって歯科検診にいらしてくださいね。歯の健康を守るのも体調管理の1つですよ。



8月1日(金)より

診療開始時間が**9時30分**からとなります。よろしくお願い致します。



おざわ歯科医院からのお知らせ

8月13日(水)から17日(日)まで休診となります。

8月24日(日)、内覧会を開催する予定です。

ご家族・ご友人の皆様をお誘いあわせの上、お気軽にお越しくださいませ。

スタッフ一同、お待ち申し上げます。

ホルモンバランスと歯周病

歯周病とは、文字通り、歯を支えるまわりの組織が炎症を起こす病気です。初期段階ではほとんど自覚症状がないものの、30才以上の成人の8割以上が何らかの歯周病の症状があるとされています。

どんな症状？

歯ぐきに化膿性の炎症が起きて腫れ、口臭がひどくなり、膿が出たり、歯を支えている骨がやせて歯がグラグラになり、最後には歯が抜けてしまうという、歯周組織を破壊する恐ろしい病気が歯周病です。以前は歯槽膿漏とっていました。痛みもなく静かに進行するので自覚症状がなく、放置してしまうケースが多いため気がついた時にはかなり重症になっていることがあります。中年以降の成人が歯をなくす一番の原因なのです。

主な原因は？

歯周病の直接の原因は歯の汚れ、歯垢(プラーク)です。口の中で繁殖した細菌が、水に溶けにくいネバネバした物質と一緒に歯に付着した汚れが歯垢です。放置した歯垢が石灰化したものが歯石(タータ)で、これらが感染を招き、次第に歯と歯肉の間に隙間(歯周ポケット)ができ、歯周組織を破壊していきます。

女性ホルモンと歯周病

最近の研究で、歯周病には女性ホルモンの影響が深く関係していることがわかってきました。歯周病は必ずしも女性特有の病気というわけではありませんが、男性よりも女性に多く見られます。女性ホルモンの分泌が増加すると、歯肉の血液量が増えて刺激に対して過敏になり、その結果、歯肉が赤く腫れたり痛みを伴って出血したりします。歯肉炎を起こしている部分は、歯周病菌に感染しやすく、気づかないうちに歯周病へと進行してしまうことも少なくありません。

歯周病が悪化しやすい時期

女性が歯周病になりやすく悪化しやすい、注意が必要な時期は、ホルモンバランスが大きく変化する時です。思春期の初潮を迎える時期や、月経のたびに、歯肉炎を起こしたり口臭が気になったりする場合があります。また妊娠中は、妊娠性歯周病や虫歯などの口の中のトラブルが増えます。つわりでお口の中を衛生的に保つことができなかったり、口の中が酸性になりやすくなるので歯肉炎や歯周病が悪化しやすいのです。そして更年期になると、体調の変化にストレスが重なる苦痛の多い時期にさしかかります。更年期障害や骨粗鬆症の治療に主に使われるエストロゲンは、女性ホルモンの一種なので歯周病に影響を与える可能性があります。ただ、どの時期でも急に歯周病が発症するわけではありません。歯を守るためには、常日頃のケアの積み重ねと定期検診がとても大切なのです。定期的にご来院くださいね。

自分の歯を守るために、定期的に歯科検診を受けましょう。





左上：ロビー 右上：診療室 下：屋上テラス

= **おざわ歯科医院 平塚インプラントセンター** =

住 所 : 神奈川県平塚市片岡1292

電 話 : 0463-58-0230

診療科目 : 一般歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科・審美歯科・インプラント
ホワイトニング

OK!



交通手段 : 平塚インターより秦野方面に車で1分 駐車場 10台有り

片岡バス停下車 徒歩1分

	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30~11:30			休				休
14:00~18:30							休

= 診療時間 =

毎月第1水曜日午後は矯正専門となります

毎月第4木曜日午後18:00より矯正相談となります

土曜日の午後は17:00迄となります